

海況速報

平成 26 年度 第 2 号 (通算 No.158)
平成 26 年 6 月 17 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@hro.or.jp

5 月下旬～6 月上旬の海況

☆日本海海域

積丹半島のはるか西方沖に暖水渦 (指標: 50m 層水温 8°C 以上) があります。またこの暖水渦の北方では、沖合冷水 (指標: 100m 層水温 4°C 以下) が雄冬岬方向へ張り出しています。対馬暖流 (指標: 100m 層水温 6°C 以上) は、前回ではせたな沖 (北緯 43° 30') までしか達していませんでしたが、今回は、檜山沖ではやや沖側、積丹半島以北では沿岸側の流路をとり順調に北上しています。

対馬暖流の流量はほぼ平年並みに回復しています。

水温は、対馬暖流流量の回復により、松前西方沖、檜山西方沖と暖水渦の分布する海域で例年よりも 2~3°C 高くなりましたが、沖合冷水が張り出す石狩湾以北においては、まだ例年よりも 2~3°C 低い海域がみられます (水温偏差表参照)。

余市における旬平均水温は、5 月中旬から下旬は「平年並み」でしたが、6 月上旬では「やや高い」になっています。

☆道東太平洋海域

親潮 (指標: 100m 層水温 5°C 以下) が道東海域のほぼ全域を覆っています。また、道東沿岸では沿岸親潮 (*1, 指標: 水温 2°C 以下) が流れています。なお、今回の観測では黒潮系北上暖水 (指標: 50m 層水温 7°C 以上) はみられませんでした。

水温は 100m 層以浅の広い範囲で例年よりも 1~4°C 低くなっています (水温偏差表参照)。

☆道南太平洋海域

4 月に引き続き親潮 (指標: 100m 層水温 5°C 以下) が道南太平洋を広く覆っています。また、沿岸親潮 (*1, 指標: 水温 2°C 以下) の先端はえりも岬の西側にありますが、沿岸親潮由来の孤立した水塊が恵山岬沖の深度 50m 付近にみられます。津軽暖流 (指標: 100m 層水温 6°C 以上, 塩分 33.6 以上) は、水温分布からは沿岸モード (*2) から渦モード (*2) への移行期にみえますが、塩分から判断するとまだ沿岸モードのままです。

水温は、道東海域と同様に、広く例年よりも低くなっています。特に、沿岸親潮由来の水塊が分布する恵山沖の深度 50m では、水温は 100m 以浅の広い範囲で例年よりも 4~6°C 低くなっています (水温偏差表参照)。

☆オホーツク海海域

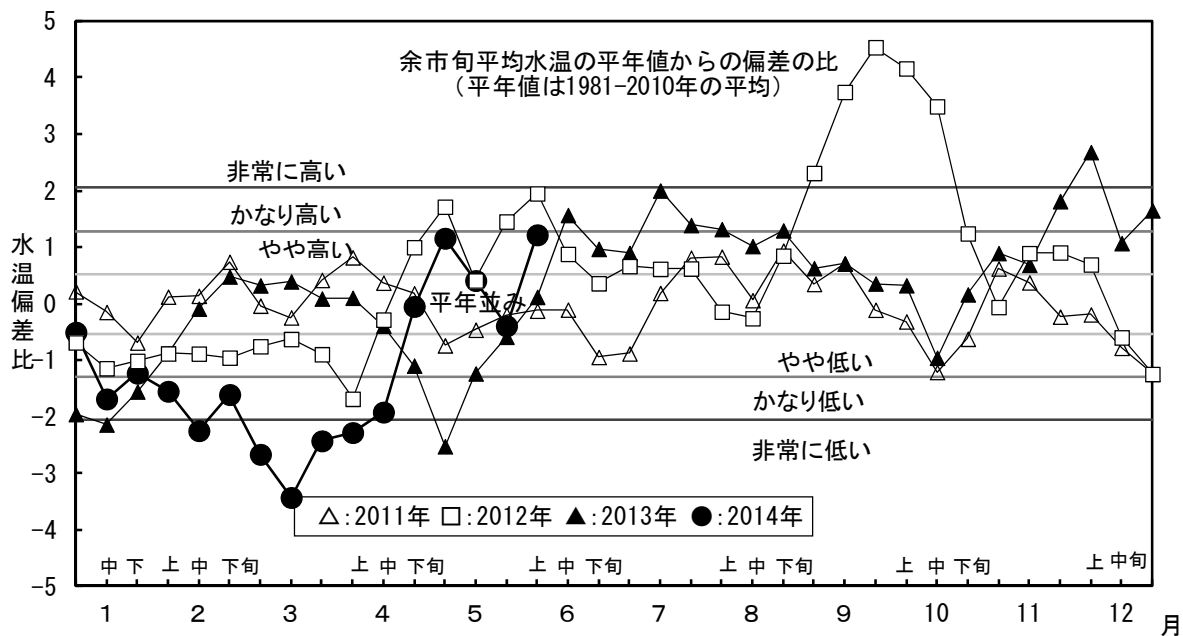
宗谷暖流が (指標: 50m 層水温 5°C 以上) オホーツク沿岸を順調に流れています。

水温は、例年並かやや低い海域が多いですが、網走沖では宗谷暖流が深くまで厚みを増して、例年よりも 2~4°C 高くなっています (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試 (北洋丸)	2014/5/27-5/30	(道西道北日本海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2014/6/2-6/4	(オホーツク海海域)
釧路水試 (北辰丸)	2014/5/19-5/24	(道東道南太平洋海域)
函館水試 (金星丸)	2014/5/21-5/23	(道西道南日本海海域)
函館水試 (金星丸)	2014/6/3	(道南太平洋海域)

* 1 : オホーツク海の海水の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。

*2：津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/kankyousuion/tkh4vd000002n7a.html>

余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/central/kaiyou/keitai/KSSSTyc.html>

右に QR コードがあります。



